STOP 糖尿病

2026 年 10 月 19 日発行　糖尿病ケアチーム通信　第 5 号　薬局

トルリシティ皮下注アテオスとマンジャロ皮下注アテオスの比較

トルリシティは GLP-1 受容体作動薬、マンジャロは GIP/GLP-1 受容体作動薬に分類される糖尿病治療薬です。GIP と GLP-1 はもともと私たちの体にあるホルモンです。経口摂取した栄養素に応答し消化管から分泌され、インスリン分泌を促進する消化管ホルモンです。血糖依存性、血糖値が高い時のみインスリン分泌を促進し血糖降下作用を発揮します。

各薬剤の特徴、用法、用量は下表を参照して下さい。

薬品名	トルリシティ皮下注アテオス	マンジャロ皮下注アテオス
成分名	デュラグルチド	チルゼパチド
製剤写真		
規格	0.75/1.5 mg	2.5/5/7.5/10/12.5/15 mg
院内採用	0.75 mg	2.5mg/5mg、他規格は在庫なし
作用機序	GLP-1 受容体作動薬	GIP/GLP-1 受容体作動薬
用法・用量	0.75mg を週 1 回、皮下注射 なお、患者の状態に応じて 1.5mg を週 1 回投与に増量可	週 1 回 2.5 mgから開始し、4 週間投与した後、週 1 回 5mg を維持用量とし皮下注射 なお、患者の状態に応じて適宜増減するが、週 1 回 5mg で効果不十分な場合は、4 週間以上の間隔で 2.5mg ずつ増量できる。ただし、最大用量は週 1 回 15mg まで可
血糖降下作用	高い（血糖値↓）	高い（血糖値↓↓）
体重への影響	減少（↓）	減少（↓↓）
(単独での)低血糖リスク	低い	低い
代表的な副作用	胃腸障害	胃腸障害
薬価（円/キット）	2,699/5,435	1,443/2,886/4,329/5,772/7,215/8,658

補足）

GIP/GLP-1 受容体作動薬は、GLP-1 受容体作動薬と比較して血糖降下作用、体重減少作用がより強いです。GLP-1 受容体作動薬、GIP/GLP－1 受容体作動薬とDPP-4 阻害薬を併用した際の臨床試験成績はなく、有効性及び安全性は確立されていません。

資料：添付文書、糖尿病治療ガイド 2024